



※本資料は、米 Lam Research が 2022 年 6 月 29 日に発表したプレスリリースの和訳版です。

2022 年 7 月 6 日
ラムリサーチ合同会社

ラムリサーチ、ネット・ゼロ・エミッションの計画と進捗を発表

半導体業界のリーダー企業が環境・社会・ガバナンスに関する年次報告書をリリース 社会的影響を強化する新しいプログラムを公開

ラムリサーチ (Lam Research Corp., Nasdaq: LRCX、本社：米国カリフォルニア州フリーモント) は、ネット・ゼロ・エミッションを積極的に掲げた 2021 年の環境・社会・ガバナンス (ESG) 報告書を発表しました。8 回目となる年次報告書では、ラムリサーチの環境フットプリントへの取り組み、および半導体エコシステム全体でのサステナビリティの推進を紹介しています。「より良い世界のために目的を持って行動する」というコミットメントを反映し、ラムリサーチは地域社会における前向きな変化を促進し、未来のイノベーターをインスパイアおよび教育し、より包括的な社会を育成するための社会的影響の枠組みも導入しました。

ラムリサーチの社長兼最高経営責任者 (CEO) のティム・アーチャー (Tim Archer) は次のように述べています。「テクノロジーによって世界を変革している私たちには、限りある資源を節約し、より良い未来を実現するために積極的な役割を果たす責任があります。昨年は、ラムリサーチのサステナビリティの目標に向けて大きく前進し、ネットゼロのサプライチェーン戦略を確立し、インクルージョンとダイバーシティへのコミットメントを強化しました。その間、従業員数は前年比 30% 以上増加し、世界的なパンデミックという難題も乗り越えてきました。私たちが達成したすべてのことを誇りに思うと同時に、ラムリサーチが力を合わせてさらなる達成を目指したいと思います」

環境フットプリントへの取り組み

ラムリサーチは、半導体業界におけるサステナビリティの推進において、リーダー的な役割を担っています。ラムリサーチは、[2030 年までに 100%再生可能エネルギーの運用、2050 年までにネットゼロを達成](#)するという目標に向けて引き続き前進しています。当社は、エネルギーと水の節約、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減を推進する新しい取り組みと戦略を導入しています。革新的な開発・設計から、責任ある製造、お客様の ESG 目標の支援に役立つソリューションの提供まで、ラムリサーチが生み出す最先端の製品においても、サステナビリティは重要な検討事項で、以下のような実績が含まれます。

- 再生可能エネルギー使用量の増加 - 2021 年にラムリサーチが世界で使用したエネルギーの 54%が再生可能エネルギーとなりました。米国オハイオ州、マレーシアのペナンおよび中国の施設では 100%再生可能エネルギーの使用を達成
- 2019 年以来、スコープ 1 およびスコープ 2 の温室効果ガス排出量を 9%以上削減
- 2021 年に有害廃棄物の 99%を埋立地から転換
- 2021 年に水不足地域で 630 万ガロンの水を節約
- エッチング製品の拡張および新製品導入により、NAND およびファウンドリロジック開発のためのジェネレーター効率を最大 15%改善し、チャンバー改造によるクリーンタイムを最大 30 ~50%短縮、およびヘリウムの装置における使用量を最大 80%削減
- 25 カ国にわたるサプライチェーン全体でサステナビリティを推進するための新しい基本戦略を確立し、継続的なトレーニング、サポート、リソースを提供するエンゲージメント・プランを策定

共にブレイクスルーを実現

ラムリサーチは、企業寄付と従業員のボランティア活動を通じて有意義な影響を与えるというコミットメントを継続しています。2021 年には、世界中の 1,550 を超える慈善団体やコミュニティを支援しました。

ラムリサーチは、ブレイクスルーを共に実現するという新しい社会的インパクトの枠組みのもと、変容的学習の推進、強靱なコミュニティの構築、包括的な社会の育成に重点を置くようになりました。この取り組みを支援するため、ラムリサーチの助成金プログラムに新しい申請システムを導入し、組織団体からの申請をより容易なものにしています。

ラムリサーチは、米国とカナダの大手企業 600 社の中から、サステナビリティ・パフォーマーの上位 20%を評価する [2021 年北米ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス \(DJSI\)](#) に選ばれました。DJSI 指数は、企業のサステナビリティに関する世界有数のベンチマークとして広く認知されています。

当社の環境・社会・ガバナンス戦略と 2021 年の実績の詳細については、ラムリサーチの 2021 年 ESG 報告書をご覧ください。

メディアリソース:

- [ラムリサーチ 2021 年 ESG 報告書](#)
- ブログ「[ラムリサーチの 2021 年 ESG 報告書:より良い世界のために目的を持って行動する](#)」

● ラムリサーチのネットゼロ戦略

*当社のオハイオ州、マレーシア、中国の施設は再生可能エネルギー・クレジット(REC)を購入することにより100%再生可能エネルギーを達成しました。

※すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。

ラムリサーチについて

ラムリサーチ社(NASDAQ: LRCX)は、半導体業界に革新的なウェハ製造装置とサービスを提供するグローバル・サプライヤーです。ラムリサーチの装置とサービスにより、お客様はより小型で性能の良いデバイスを構築することができます。今日ではあらゆる高度な半導体は、ラムリサーチによって製造されています。ラムリサーチは、優れたシステムエンジニアリング、テクノロジーリーダーシップ、価値観に基づく強い企業文化を融合し、お客様への揺るぎないコミットメントを実現します。ラムリサーチは、カリフォルニア州フリーモントに本社を置くFORTUNE 500®企業であり、世界各地で事業を展開しています。詳細は www.lamresearch.com をご覧ください。

将来の見通しに関する記述についての注意

このプレスリリースに記載されている記述のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、1995年米国私募証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)が定める免責条項の対象となります。このような将来の見通しに関する記述は、以下に関係するものですが、それらに限定されるものではありません。

当社のネット・ゼロ・エミッション目標、再生可能エネルギー目標、その他のサステナビリティ目標、当社の{t8}環境フットプリント、当社の業界におけるサステナビリティ、当社の社会的影響、当社の包括性および多様性への取り組み、当社の製品の性能および製品開発、当社の企業寄付および従業員ボランティア活動。

これらの将来の見通しに関する記述に影響を与えうる要因には、以下のようなものがあります。

サプライチェーンの混乱は当社製品の需要に対応する能力を制限し、今後も制限する見込みです。サプライチェーンのコスト上昇及びその他のインフレ圧力は当社の収益性に影響を与え、今後も影響を与える見込みです。貿易条例、輸出規制、貿易紛争及びその他の地政学的緊張は当社製品の販売能力を阻害するかもしれません。家電業界、半導体業界及び経済全体の事業、政治及び／又は規制の状況は悪化又は変化するかもしれません。顧客や競合他社の行動が当社の予想と異なる可能性があります。新型コロナパンデミック(およびそれに対する政府、公衆衛生、企業、地域社会の対応)の深刻さ、規模および期間、ならびにそれらが当社の事業、業績および財務状況に及ぼす影響は、進化しており、非常に不確実かつ予測不可能です。また、大規模な疾病の発生により、被災地における当社の事業および収益に影響が及ぶ可能性があります。ならびに、当社が証券取引委員会に提出または提供した文書に記載されているその他のリスクおよび不確実性です。とりわけ、2021年6月27日に終

了した会計年度の様式 10-K による年次報告書および 2022 年 3 月 27 日に終了した会計四半期の様式 10-Q による四半期報告書に記載されているリスク要因を含みます。

これらの不確実性や変化は、将来の見通しに関する記述に重大な影響を与え、実際の結果が期待と大きく異なる原因となる可能性があります。

当社は、本リリースに記載された情報や記述を更新する義務を負いません。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

ラムリサーチ広報事務局（アリソン・アンド・パートナーズ株式会社内）

担当: 名倉/大塚

Tel: 03-6809-1300

Email: pr_lamresearch@allisonpr.com

###